

## 華蓮だより

Karen

## 人間総合科学大学通信

秋、後期生の皆さんは入学、進級と新たなスタートとなります。前期生の皆さんも心機一転、新たな気持ちで頑張りましょう。



## その場でバケツを下ろして水を汲め

20世紀のアメリカ黒人指導者のひとりにブッカー・T・ワシントンという人物がいます。彼は、ヴァージニア州のプランテーションに奴隷の子どもとして生まれますが、その彼を一躍有名にしたのは、1896年に開催されたアトランタ博覧会の開会式での演説です。その演説はある比喩からスタートします。それは「ある船が遭難して、偶然遭遇した他の船に真水を分けてもらおうとしたところ、『その場でバケツを下ろして水を汲め(Cast down your bucket where you are.)』という信号を返され、試しに水を汲んでみると、バケツには確かに真水が滲えられていた。海にいたと思っていた船は、アマゾン川河口に入っていて真水が汲めた」というものです。この例え話の中で「バケツを下ろせ」と表現された「Cast down」とは、「(目を)下に向けろ」という意味でもあります。つまり「足元を見る」ということも意味します。私はこの話を聞き、過去に大きな感銘を覚えた記憶があります。

ここで、日本社会に目を向けると、現在の日本人は、これまで歩んできた日本の歴史上最も豊かな時代に感じています。例えば、インターネット、スマートフォン、コンビニ、安価な外食、インスタント食品、冷暖房完備のアパートなど、私たちの生活は便利さが当たり前の水準になっています。この現象は、ストレス性健康障害の蔓延など、これまで中高年のものであった健康問題を若年



学部長 久住武

化させていると考えられます。

現在の健康科学は、生活習慣病やストレス由来の健康障害などの多くが、睡眠、栄養、運動を中心とした生活習慣の改善により、かなりのパーセンテージで予防やコントロールができ、治療も可能であることを明らかにしてきました。さらに「がん」も栄養バランスの調整により免疫能の活性化などにより予防できることが示されています。

そこでCast down、「足元を見る」ことの重要性が問われます。例えば、江戸時代の蘭学医である杉田玄白が著した『養生七不可』には下記のようなことが示されています。それは、1.昨日のことは後悔せず、ストレスを溜めない。2.明日のことは心配しすぎず、ストレスとしない。3.適切適度な食習慣を身につける。4.旬な素材を食し、自然にないものは食べない。5.必要以上に薬に頼らず、自己回復力を養う。6.必要以上に快樂におぼれない。7.適切な運動習慣を身につける…という内容ですが、かつて日本人

## 目次:

その場でバケツを下ろして水を汲め／学部長 久住武	1
新学期を迎えて／小岩信義 先生	2
ハーブ園の一風景から／庄子和夫 先生	3
「カウンセリング実践」にて思うこと／村上香奈 先生	4
後期生出入願受付中!	4
第24回生涯学習特別講義を開催しました	5
HAS Vol.12 10月中旬発刊予定!	5
卒業研究について	6
大学とのコミュニケーション／休校日のお知らせ	8
オフィスアワー予定表	9
寄付金のお願い	10

は、この生活習慣に努め生きてきたわけです。

私たちの「足元」になる生活習慣を見直し、病気になる前に、主体的に健康を維持し、心身ともに元気で生き生きとした日々を送ることができるよう努めたいものです。この「足元」に気づくことが、社会や生活、自然環境の変化が激しい時代のなかにあつて、「よりよく生きる」ための知恵の基本になると考えています。

また、皆さんは、今も、あるいは卒業し

てからも、ご自身の立ち位置に迷う出来事に出会うかもしれません。その時、本学で学んださまざまな知識が、健康のことに限らず皆さんの人生の足元を固めていたということを思い出してください。あなた自身の「バケツ」で、足元に在るその知恵を「Cast down」し、ぜひ迷った時の判断に必要な「真水」を手に入れてください。本学で学んでいる「よりよく生きるための知恵-Knowledge for well-being-」を皆さんの生活に活かし、価値ある人生を歩んでください。

くすみ たけし  
人間科学部 学部長、  
「心身健康科学概論」  
「ストレスと健康」「心理統計学IT」「身体の構造と機能」「伝承医学」「現代の養生訓」  
「生涯学習特別講義 ネット授業1、3」担当

## 新学期を迎えて

新学期を迎えて、いよいよ勉学の秋の季節となりました。今年の夏は去年にも増して連日、猛暑日が続きました。さすがに朝晩の涼しさを感じるこの頃ですが、この夏のあまりの暑さに体調を崩してしまった方も多かったようです。夏の疲れが出ている方は、後半の学習に備えて、今のうちに元気を取りもどしておきましょう。

9月23日に秋季卒業生の学位授与式が、蓮田キャンパスで執り行われました。卒業生の皆さんはとても清々しい表情をされていました。当日は、全卒業生の卒業研究タイトル集が参加者に配られました。最終的な報告書に仕上がるまでに、卒業生の皆さんが遭遇したであろうそれぞれの出来事を、卒業研究リストをみながら想像していました。私が担当した卒業生にも、報告書完成までに数々のドラマがありました。倫理審査の申請・許可に四苦八苦した方、仕事との両立が困難でなかなか進まず、完成がぎりぎりになってしまった方もいました。3年越しに卒業研究を続けた方もいました。おそらく卒業生の一人、一人に、計り知れない物語があったことでしょう。ただ、全員に共通することは、皆『諦めな

いで続けた』からこそ、卒業式までたどりつくことができたということでした。入学した当初は、卒業というゴールが果てしなく遠いものに感じたかもしれません。この文章を読んでいる方の中にも今、同じような気持ちになっている方がいるでしょう。しかし、止まらないで『続ける』限り、確実にゴールへと近づいていることを忘れないでください。

私たち教員は、皆さんに成り代わって卒業研究報告書を書いたりすることは勿論できません。しかし、卒業までの道のりを、皆さんとともに伴走することはできません。私たち教員はペースメーカーとして、皆さんと一緒に走りながらゴールまでたどり着くまでのコツをお伝えすることができます。また、人間総合科学大学には、通信課程にありがちな孤独感を忘れさせるような工夫や仕掛けが沢山用意されています。私たち教員を、人間総合科学という学問についてともに勉強、研究する仲間として考えて頂きたいと思います。

卒業までともに走り続けましょう(もちろん歩きでも伴走します)。



小岩信義 先生

こいわ のぶよし  
「心身健康科学概論」  
「ストレスと健康」「人間理解へのアプローチ」「身体の構造と機能」「脳科学論」「生活習慣と健康」担当



庄子和夫 先生

しようじ かずお  
「生命科学概論」  
「老化・寿命の科学～ヒトは  
どうして老いるのか～」  
「生命と遺伝子」担当

## ハーブ園の一風景から

大学の蓮田キャンパスにハーブを栽培している一角があるのを皆さんご存知でしょうか。ここにはミント類、ローズマリー、タイム、ヒソップなどたくさんの種類のハーブがあります。これらのハーブに混ざって、今は時期を過ぎてしまいましたがアンティチョーク(朝鮮アザミ)が栽培されています。紫の見た目にも鮮やかな花が咲きます。

皆さんはこのアンティチョークを食べたことがありますか？ これは独特の食感があり、味もちょっと表現が難しいのですが、えぐみがあるという独特のものがあります。表面を剥いて中の芯に近いところを食するのですが、パスタなどに非常によく合います。オリーブオイルの瓶漬けになったものを店頭で見かけたりもします。このアンティチョークにはたくさんの種類があり、それぞれ微妙に味も食感も異なります。先が丸みを帯びているマモーレや、先が尖ったスピノーゾなどです。私が初めてこれを食したのは、ローマにてクリスマスの時期でした。いわゆるカルチオフィユダヤ風というもので、オリーブオイルで揚げたようなものだったと記憶しています。当時はローマで一人暮らしでした。そんな中、知り合ったイタリア人の友人の奥さんにクリスマスシーズンにこれをご馳走になりました。見た目も食した感じも当時はかなり衝撃的だったのを記憶しています。ただし、どんな味を感じ取ったのかは今は覚えていません。が、現在、私の好きな食材の一つであることから考えると、美味しかったのだと思います。

そんなわけで、毎年、ハーブ園でこのアンティチョークを見ると、鑑賞するよりその味を想像して、このまま枯らすのもったいないという思いで見つめています。ローマでは八百屋さんに行くと日本にはない野菜ばかりで、どうしていいのが困ったのが思い出としてあります。当

時、日本ではほとんど見かけなかったフェネル(ウイキョウ)もその一つです。これは白い葉柄の部分を食べますが、そのまま生で食べると口の中に独特の香りと甘さが広がります。それからチコリやラルッコラやら、当時日本ではあまり馴染みのない野菜ばかりで、中には得体のしれない野菜もありでどう料理していいのか途方に暮れた毎日だったのを思い出します。

国が違えば文化、食文化も異なります。日本とイタリア、遠く離れた国同士ですから、食す野菜もこのように異なるのは当たり前かもしれません。しかし、このように遠く離れた国同士でも、まさかと思われるような共通の食材が存在します。日本のカラスミです。これと全く同じものがイタリアにも存在して、ボラの卵を使い、作り方も同じです。これは昔からある食材で(2000年前から存在したとの説もあります)、イタリアの食材の中でもかなり高級な方に属します。とは言っても日本の10分の1ぐらいの値段ですが。

実はこのカラスミ、日本独特のものと思っている方が多いと思いますが、実はイタリアの方が本場で、安土桃山時代に西洋から日本へ伝わったとのこと。また、日本独特の食材という感じがするものにそば粉がありますが、イタリアにもそば粉はあります。それで作るパスタも存在します。イタリアではそば粉のことをサラセン小麦と呼んでいます。つまり、サラセン人の小麦ということです。サラセン帝国経由で伝わったようです。

異なった国には異なった食文化があります。同じ食材でも異なった料理になります。それによって形成される文化全体、歴史も異なってくるということがあるかもしれません。皆さんも見慣れた食材でもその起源などに思いをはせてみてはいかがでしょうか。

## 「カウンセリング実践」にて思うこと

今年度、すでに8回のスクーリングを行い、人間科学科の多くの学生さんたちと出逢いました。そして、毎回、みなさんの学習への意欲に感銘を受けています。そのような学生のみなさんの気持ちに伝えるべく、スクーリングという限られた時間の中で、私は‘何を伝えるべき’なのかを考えます。そして、特に、そのことにおいて、難しさを感じるのが「カウンセリング実践」なのです。

カウンセリングを行うには、カウンセリングの理論、立場、技法などを学ぶだけでは十分とは言えず、‘感覚’を研ぎ澄ます必要があります。それは、目の前のクライアントから発せられるものだけではなく、例えば、その場の空気感、そこで生じる微かな違和感、さらに、カウンセラー自身の中で揺れ動く気持ち、このようなものを受け止め、なぜその感覚が生じたのかといった疑問を抱き、自分の感覚とかけ離れていない言葉で表現する力が必要となるのです。「カウンセリング実践」は実習科目であるため、ロールプレイや簡単な事例に対して、‘今、何を感じたのか’について問いかけ、説明に際しても、出来る限りわかりやすく行うよう心がけています。しかし、わかりやすく説明したが故に、この科目の履修だけで、カウンセリングを十分に行えると思われることは非常に危険なことなのです。その理由を端的に2つ挙げるとすれ

ば、1つ目はクライアントへの害であり、2つ目は自身の崩壊につながる可能性があるからです。これを読み、厳しいと思われる方もいるかと思いますが、それは学生のみなさんの危険を回避したいためであるとご理解いただき、スクーリングではわかりやすく、カウンセリングの難しさを体験・実感していただきたいと考えています。

また、「カウンセリング実践」では、カウンセリングの学習を通して、自分を理解し、コントロールする術を伝えたいと考えています。当然のことながら、私も身体だけでなく、心の調子が悪い時はあります。しかし、その心の調子の悪さを発見し、理解し、対処につなげようとする術を、カウンセリングの学習から身に付け、そして、学生時代に比べると少しだけ楽に生きられるようになった気がするのです。そういったヒントがカウンセリングの学習の中にあるのです。私は、受講生に「カウンセラーはクライアントに心配されるようであってははいけません。自分自身の心身の健康を管理できるようにしましょう」と言っています。つまり、カウンセラーの第一歩は、自分自身を理解し、コントロールする力を身に付け、心身の健康を維持することとも言えるため、「カウンセリング実践」ではその第一歩から始めたいと思っているのです。



村上香奈 先生

むらかみ かな  
「カウンセリング実践」  
「心理学概論」「心理学  
学研究法」「心理学基  
礎実験Ⅰ」「心理学基  
礎実験Ⅱ」「心理学基  
礎実験Ⅲ」「高齢期心  
理学」担当

## 2012年度 人間科学科 後期生出願受付中！

人間科学科では2012年度後期生(10月入学生)を募集しています。皆様のお知り合いで、本学に興味をお持ちの方や、一緒に学びたいという方がいらっしゃいましたら、ぜひご案内ください。締切は10月31日(水)です。

大学案内・募集要項等の資料は全て無料でお届けいたしますので、以下の方法でご請求ください。

TEL:048-749-6111 FAX:048-749-6110

E-mail: admin@human.ac.jp

(これらのいずれかに、氏名・送付先住所・電話番号等をお知らせください。)

### ◆説明会◆

10月13日(土)10:00~17:00に東京サテライトにて説明会を開催いたします。お気軽にお立ち寄りください。



2012年度後期生出願受付中！



当日の様子

## 第24回 生涯学習特別講義『最新の科学から見た ところとからだの健康生活のすすめ』を蓮田キャンパスで開催しました

7月7日に開催された第24回生涯学習特別講義のメインテーマは「最新の科学から見た ところとからだの健康生活のすすめ」。「食」とストレスについて「ところ」「からだ」「文化」との関連を幅広く議論しました。

ゲスト・スピーカーとして、徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部教授の武田英二先生をお招きし、ストレスに対する心身の反応や、ストレスへの適応を助ける食事についてお話いただきました。また、学内の教員からは、まず健康栄養学科の小林修平先生から、現代の生活習慣と、現代人の健康状態の変化を見ながら栄養とストレスコントロールについて基礎的なお話がありました。次の演題として、私は、ストレスの概念そのものを見直しながら、最新の科学的知見からさまざまな脳内物質とストレス対処



との関連を解説しました。さらに江戸時代の貝原益軒や杉田玄白の「食養生」の意味を科学的に分析してみました。大学院・健康栄養科学専攻長の桑田有先生からは、栄養、食品成分が関わるストレスなどへの生体防衛機構を、腸内細菌をターゲットにした専門的なお話がありました。



その後に行われたパネルディスカッションでは、久住学長からコメントをいただき、全体として「食」と「ところ」「からだ」「文化」と、ストレスについて、参加者の質問に答える形で多岐に渡る議論がなされ充実した時間を過ごすことができました。(久住武 記)



※今回の講演録は、HAS13号に掲載される予定です。

※次回の「生涯学習特別講義」は、12月8日(土)に本学蓮田キャンパスで開催します。講義内容・申し込み方法等の詳細は追って本学ホームページ等でご案内いたします。

※次回の「生涯学習特別講義」は、12月8日(土)に本学蓮田キャンパスで開催します。講義内容・申し込み方法等の詳細は追って本学ホームページ等でご案内いたします。

※次回の「生涯学習特別講義」は、12月8日(土)に本学蓮田キャンパスで開催します。講義内容・申し込み方法等の詳細は追って本学ホームページ等でご案内いたします。

生涯学習特別講義の詳細は本学ホームページ(<http://www.human.ac.jp/>)でご確認ください。



## HAS(Human Arts and Sciences)Vol.12 10月中旬発刊予定!

人間総合科学大学の生涯学習特別講義講演録「HAS(Human Arts and Sciences)」Vol.12が10月中旬に発刊されます。既刊のVol.1～11も絶賛発売中です。

### 【Vol.12 特集】

『人間の能力は、遺伝子が環境か』

頒価:1,200円(税込)

### 【購読申し込み】

#### ◆代引決済による方法◆

代金と引き換えにお届けします(通常、佐川急便を利用します)。本学ホームページ

から申込書をダウンロードして所定欄に必要事項を記入し、FAXまたは郵送にて本学事務局宛てにお送りください。送料は全国一律450円。ほかに代引手数料315円がかかります。

#### ◆郵便為替による方法◆

本学ホームページから申込用紙をダウンロードの上、記入し郵便為替1,200円分、郵便切手270円分と申込用紙を送付ください。申込用紙が届き次第、郵便にて送付いたします。

# 卒業研究について

## 看護に関する文献研究へのアプローチ

本学には看護関係の職業に就いている人が多く、看護研究を行う人は少なくないと思います。看護研究というと症例研究が一般的のように思いがちですが、症例研究は倫理上の問題が生じ、そのため倫理審査も当然厳しいものとなるので、卒業研究ではほとんどの人が文献研究を行うのが通例です。

文献研究は、文献をもとにしてあるテーマについて明らかにする研究です。中でもそのテーマに関しどのような文献があるかについて重きを置いて調べたものは「文献レビュー」といいます。もちろんどのような文献があるのかを調べることは、先行の研究を明らかにすることでもあり、あらゆる研究の場合に必要なことですが、そこで大切

なのは、文献は「量」ではなく「質の高さ」が問題だということです。

質の高い学術論文を探す場合、看護系の文献は「医中誌」の「最新看護索引」が専門に特化している分、CiNiiなどよりも確に探し出せる利点があります。この「医中誌」を含め、UHAS@Myキャンパスから「大学図書館」の「e-Library」に入ると、いくつかのデータベースを活用することができます。

文献研究はすべての研究の原点ともいえるもので、自身の問いを研ぎ澄ませていくことができるプロセスでもあります。まずしっかりとした学術論文に目を通し、研究とはどのようなものかを踏まえておくとよいでしょう。

卒業研究  
コーディネーター  
岡野幸江先生からの  
ワンポイント・アドバイ  
ス

## 文献検索について

自分で決めたテーマについて、過去に誰かが書いていたり、発言したりしていることがあります。そこで、文献研究、調査・実験研究、ケース研究(症例・事例研究)などを問わず、過去の文献に当たってみる必要があります。文献研究はいうにおよばず、実験・調査研究においては、実験方法や調査方法を調べる意味でも早めに関連する資料を集めることが重要であり、ケース研究では、過去の症例報告や事例などを確認しておくことが必要でしょう。

先行研究を調べるには、非常に時間もかかり、探す努力が必要になります。しかし、文献収集の重要なことは、収集する作業の中で仮に決めたテーマが絞られていくという点です。

またいろいろな視点からテーマを考えることでより高いレベルへと考え方が統合されていくという重要な意味があります。このプロセスを経て、後になって自分なりの結論や考察が生まれてくることから資料の収集は早めに始めましょう。

「UHAS@Myキャンパス」左メニュー「大学図書館」の「e-Library」にアクセスすると、

本学が契約するデータベース・電子図書・電子ジャーナルが利用できます。

### 人間総合科学大学電子ジャーナルサイト

本学が各出版社と個別契約した医療系・心理系の海外電子ジャーナルです。

### メディカルオンライン(Medical Online)

国内医学関係の総合情報サイト。文献の検索、ダウンロードが可能です。

### 医中誌Web

国内医学論文の情報検索・閲覧サイト抄録や一部本文へのリンクもあります。

### CiNii

国内学術雑誌や研究紀要論文の検索サイト 全文ダウンロード可のものもあり。

### 最新看護索引Web

看護キーワードで文献検索。

※オンラインデータベースは個人の利用に限定されます。個人利用の範囲を超えた一括または大量のダウンロード、複製や再配布は禁止されています。違反した場合、大学全体での利用停止となりますので、ルールを守ってご利用ください。



UHAS@Myキャンパス

## 卒業研究スケジュール

卒業予定時期	手続きの内容
2013年3月 卒業予定者	<p><b>【草稿の提出が始まります】</b></p> <p>10月1日から「草稿(1回目)」の受付が始まります。提出方法は、UHAS@Myキャンパス(「卒業研究(指導教員名)」&gt;「草稿提出」欄)に添付で提出します。</p> <p>1回目の提出は11月30日迄になっていますので、今の段階でまだ不安を抱えている方も、できたところまでで構いませんので必ず提出してください。指導教員からの回答がありましたらコメントをよく確認しましょう。</p> <p>その後は加筆・修正期間になりますので、この間に 提出⇒添削⇒修正⇒再提出 を繰り返しながら草稿をまとめ、来年の1月15日迄に提出承認を得てください。早めに提出することを心掛け、自分から積極的に連絡し、指導やアドバイスを受けるようにしてください。</p> <p><b>★草稿の作成に便利なテンプレートをご利用ください！</b></p> <p>UHAS@Myキャンパスの「草稿提出」&gt;記事一覧に、『報告書テンプレート』が添付されています。予め表紙や目次も作成されており、本文からページが振られるように設定されていますのでとても便利です。草稿の完成間際にページの付け方がわからない等悩む心配はありません。よろしければどうぞご利用ください。</p> <p><b>【卒業研究報告書の提出について】</b></p> <p>指導教員から提出承認が得られた方の「卒業研究報告書」の受付期間は、来年1月16日～31日迄になっています(提出承認が得られていない方は提出することができません)ので、期限間際に慌てることがないように、余裕をもったスケジュールですすめましょう。</p> <p>報告書の提出方法ですが、提出期間になると、UHAS@Myキャンパス上に「卒業研究報告書提出(提出承認済者)」欄が表示されますので、添付で提出してください。CD-R・手書きの報告書を郵送する場合は、万一の郵便事故に備え、簡易書留等配達記録の残る手段(メール便不可)でお送りください。</p>
2013年9月 卒業予定者	<p><b>【いよいよ、研究の開始です】</b></p> <p>「研究テーマ申請票」の提出は終わりましたか？ 提出がない場合は、2013年9月卒業予定のスケジュールでは卒業研究を履修しないとみなされます(卒業が1年間延期されます)ので、必ず提出してください。</p> <p>提出された研究テーマに基づいて、指導教員を決定します(指導教員決定通知書は、11月上旬に発送を予定しています)。決定通知到着後には、指導教員とUHAS@Myキャンパスでのやり取りが可能になります。それまでに質問・相談がある場合は、卒業研究係宛「卒業研究Q&amp;A」をご利用ください。</p> <p>「研究プラン概要書」の提出は11月30日迄になりますので、指導教員決定通知書を待つ間にも、文献(先行研究)を探すことや研究方法を検討しておくことをお勧めします。「研究プラン概要書」は指導教員より受付承諾を得る必要があります。回答は必ず確認し、再提出を指示された場合は受付承諾を得るまで再提出してください。「研究プラン概要書」の受付承諾が得られない場合、草稿を提出することはできませんのでご注意ください。</p> <p>なお、「研究プラン概要書」の内容により、倫理審査の申請が必要な場合があります。この場合は、時間に余裕をもって早めに申請方法等を指導教員に相談しましょう。</p>
2014年3月 卒業予定者	<p><b>【卒業研究について考え始めましょう】</b></p> <p>『卒業研究履修の手引き』をよく読んで、スケジュールを確認しておきましょう。早速文献や資料集めを始めている方もおられることと思いますが、わからないことがあれば、卒業研究係までお問い合わせください。</p> <p>11月には「予備調査」(任意)を実施します。この調査で、皆様から寄せられたよくある質問をまとめた冊子「卒業研究Q&amp;A」を後日全員にお送りいたします。</p>

## 大学とのコミュニケーション

### ◆窓口対応時間◆

#### 【蓮田キャンパス】

通常(火～日) 9:00-17:00

科目修了試験日 9:00-18:30

スクーリング開講日 8:30-18:30

※スクーリング最終日(木・日)は17:30迄

※月曜日は原則休校です。

#### 【東京サテライト】

通常(火・水・金～日) 12:00-17:30

科目修了試験日 9:00-17:30

スクーリング開講日 8:30-18:30

※スクーリング最終日(木・日)は17:30迄

※月曜日、木曜日は原則休校です。

その他休校日については、以下の『キャンパス休校日のお知らせ』で確認してください。

### ◆電話・FAXによる問い合わせ◆

#### 【蓮田キャンパス】

**TEL : 048-749-6885**

FAX : 048-749-6110

#### 【東京サテライト】

TEL : 03-5298-8111

電話受付時間は窓口対応時間と同じです。FAXは24時間受け付けています。お問

い合わせの際は次の事項を厳守してください。

・やむを得ない場合を除き、必ず学生本人が連絡してきてください。

・電話の際、最初に「学籍番号」と「氏名」を告げてから用件を話してください。また、用件は簡潔にお願いします。

### ◆図書館・パソコン教室の利用◆

！注意！ 月曜日は利用できません。

#### 【図書館開館時間】

通常(火～日、休館日を除く) 10:30-17:30

スクーリング実施日等 10:30-18:30

スクーリング最終日 10:30-17:30

スクーリング等のない土曜等 10:30-16:30

図書館利用にあたっては、『学修生活の手引き』を参照してください。

#### 【パソコン教室開放時間】

通常(火～日) 9:00-17:00

スクーリング実施日等 9:00-18:30

パソコン教室は、行事と授業の関係で利用が制限されることがあります。また、パソコン教室の利用にあたっては、『学修生活の手引き』を参照してください。



各種申請・提出期間や締切等は『学修生活の手引き(別冊)』で必ず確認してください。

## キャンパス休校日のお知らせ

定休日の他に以下の日程で休校します。

### ◆蓮田キャンパス休校日◆ 月曜定休

10月 8日(月) 体育の日

11月23日(金) 勤労感謝の日

12月24日(月) 振替休日

12月28日(金)～ 1月 4日(金) 年末年始

1月14日(月) 成人の日

### ◆東京サテライト◆ 月・木曜定休

10月 8日(月) 体育の日

11月23日(金) 勤労感謝の日

蓮田は(月)、東京は(月)(木)が定休日です。

12月24日(月) 振替休日

12月28日(金)～ 1月 4日(金) 年末年始

1月14日(月) 成人の日

### ◆図書館休館日◆

休校日に加え、以下の通り休館します。

10月7日、14日、21日、12月9日(日)

ご利用の際はご注意ください。休校日は変更になる場合があります。最新の情報は本学ホームページ(<http://www.human.ac.jp/>)でご確認ください。



## オフィスアワー予定表 10月16日～1月15日

教 員 名	日 時 (祝日等で休校の場合は除く)
岡野幸江 先生	金・土曜日 10:00～16:00
鍵谷方子 先生	土曜日 10:00～16:00
久住武 先生	第1・3金・土曜日 10:00～16:00
小岩信義 先生	第1・3土曜日 10:00～16:00
近藤昊 先生	第2・4土曜日 10:00～16:00
島田凉子 先生	土曜日 10:30～16:00
庄子和夫 先生	土曜日 10:00～12:00
鈴木はる江 先生	土曜日 10:00～16:00
大東俊一 先生	土曜日 10:00～12:00
田村美由紀 先生	火～金曜日 10:00～16:00
中野博子 先生	土曜日 10:00～16:00
中山和久 先生	土曜日 10:00～16:00
村上香奈 先生	土曜日 10:00～16:00
矢吹弘子 先生	木曜日 14:00～16:00
吉田浩子 先生	火曜日 10:00～16:00

右表の予定は、教員の都合により変更となる場合がありますので、予めご了承下さい。この他、水・金曜日で学内勤務日となっている場合は、先生と相談の上、面談を行うことも可能です。

◆年末年始(12月28日～1月4日)は休校です。

### 面談予約方法 一面談申込は遅くとも2週間前必着。電話での申込は受けられません。

#### ◆UHAS@Myキャンパス◆

UHAS@Myキャンパス「各種様式ダウンロード」内「17 オフィスアワー用面談予約票」にて様式をダウンロードし、必要事項を入力の上、「卒業研究Q&A」より送信。卒業研究指導の場合は「卒業研究(指導教員)」内「面接指導申込」。

#### ◆郵送◆

様式17「面談予約票」(卒業研究指導の場合は様式15「卒業研究面接指導申込

書)」に記入し、学務課まで郵送(返信用15円切手を同封)。

#### ◆FAX◆

様式17「面談予約票」に記入し、学務課までFAX送信(048-749-6110)。

※卒業研究指導の場合はFAX不可。

※複数の候補日を記入してください。対面ではなく電話相談の場合も同様の方法で予約してください。

# 華蓮だより

## 人間総合科学大学通信

---

〒339-8539  
埼玉県さいたま市岩槻区馬込1288  
電話：048(749)6885(月曜・祝日除く9:00-17:00)  
FAX：048(749)6110  
E-mail：records@human.ac.jp

『華蓮だより』2012年秋号  
2012年10月1日発行  
通巻第103号

発行／学校法人早稲田医療学園  
人間総合科学大学事務局

---

ホームページもご覧ください。  
<http://www.human.ac.jp/>

---

次号は2013年1月発行予定

## 寄付金のお願い

### —社会に貢献できる保健医療人を輩出し続けるために—

人々の健康と幸福に寄与できる人材を育成し、医療・保健・健康・福祉分野に貢献する本学園の教育理念にご賛同頂ける方々に寄付金をお願いしております。

本学園は、全学的な経費の削減や公的資金の活用など懸命の努力を続けておりますが、なお多くの方々からご支援を賜り、さらなる資金を必要としております。ぜひとも、皆様からのご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

お申込み及び詳細は下記、本学ホームページをご覧ください。

<http://www.human.ac.jp/kifukin/index.html>



2008.4-2015.3

本学は平成20年度(財)日本高等教育評価機構による第三者評価の結果、大学評価基準を満たしていると認定されました。